2017 年度　事業実施報告

１．人材開発・養成事業

（1）人材スキルアップ定期コース（7 月・10 月・2 月）

今年度は、「人材開発養成事業検討委員会」からの提言（2016 年 12 月）を受けまして、7 月期は職場見学会コース（短期間）、10 月期は職場実習コース（2 週間程度）として実施しました。2 月期は例年どおり障がい者を対象としたコースを実施しました。また、今年度からは講座において企業の人事担当者や人権担当者をお招きし、より実践的な講義内容を採り入れています。

7 月期（職場見学会コース）は、2017 年 7 月 24 日～7 月 28 日に実施し、エントリー会員は４会員、受講者は 8 名（7 名修了）であり、内 2 名が就職しました。

10 月期（職場実習コース）は、10 月 24 日～11 月 3 日に実施し、エントリー会員は 15 会員、受講者は 10 名（6 名修了）であり、内 3 名が就職しました。

2 月期は、障がいのある方を対象として、2018 年 2 月 20 日～3 月 12 日に実施し、エントリー会員 12 会員、受講者 12 名（9 名修了）であり、内 5 名が就職しました。

合計エントリー会員 33 会員（前年度比 11 会員増）、受講者は 30 名（同 14 名増）で修了者は 22 名（同 8 名増）でした。修了者のうち会員内外へ就職した人は 10 名（同 4 名増）となり、就職率は 45%となりました。

【別表 1 参照】

（2）人材スキルアップ随時コース

9 会員で実施（対前年度比 1 会員増）していただき、12 名が受講修了（同 1 名増）しました。12 名中、7 名の方が実習先に就職しました。

人材スキルアップ随時コースは時期を限定せず、エントリーいただいた企業に職場実習をお願いするものです。事業内容においては、後述します「就職マッチング事業」と重なる部分も多いため、統合整理を図ります。

【別表 2 参照】

（3）大阪府域支援学校との連携

大阪府域の支援学校等から障がいのある生徒に対して雇用や職場実習の提供をお願いしました。その結果、職場実習については、68 会員（前年度比 2 会員増）で、265 名（同 67 名増）受け入れていただきました。また、雇用については、38 会員（同 5 会員減）、80 名（同 7 名増）の方が職場実習を通じて雇用につながりました。

C-STEP 事務所内において、模擬職場実習を行いました。20 校（同 1 校増）、58 名（同 4 名増・内訳・3 年生 38 名、2 年生 13 名、1 年生 7 名）の参加があり、生徒の適性や興味関心などの把握と職場実習時におけるビジネスマナーの講習を行いました。

【別表 3・別表 4 参照】

（4）大阪府域支援学校等の障がいのある生徒のビジネスマナー講座

大阪府域の支援学校等から障がいのある生徒に対する取り組みとして A´ワーク創造館（大阪地域職業センター）を会場として、「ビジネスマナー初級・中級講座」を実施しました。初級・中級合わせて 21 校（前年度比 5 校減）から参加があり、修了者は 157 名（同 19 名減）になりました。また、「ビジネスマナー講座見学会」も前年度に引き続き実施し、19 企業（前年度同数）から 23 名（同 4 名減）の参加がありました。

２．就職マッチング事業

（1）C-STEP への仮登録

各市町村地域就労支援センターで一定のスキルを経た推薦者に対して、大阪府と C-STEP 事務局が 45 名の方にヒアリングを実施し、就職マッチングエントリー者として仮登録しました。エントリー数は 3 年連続で減少（2016 年度 54 名）しました。エントリー者の実情においても、就労困難事由が重層的であるものや緊急性を要するものが増加しており、より困難事例が増えています。

（2）職場見学会と職場実習

求人（雇用）情報カードを提出していただいた会員の協力の下に、職場見学（実習）を実施

し、雇用促進を実現しました。対象者は、前述の就職マッチングエントリー者で求人（雇用）情報カード 28 件に対して職場見学を 28 回開催し、21 名の就職が実現（2016 年度 20 名）しました。

【別表 5 参照】

(3) 会員訪問

「大阪府就労支援ケース連絡協議会」の推薦者及び大阪府域の支援学校等の障がいのある生徒の雇用・就労の促進に向けて、情報提供と意見交換をはかるために 1,138 回（2016 年度 1,019 回）の会員訪問を行いました。今年度からは、地域別に担当者を決めて訪問活動を行なっています。

(4) 在職者の職場適応

定着支援として、263 事業所（2016 年度 287 事業所）の会員の訪問を行い、それぞれの課題に合わせた支援活動を行いました。訪問活動で把握した在職者の課題については、定例のケース会議で情報を共有し、問題が先鋭化することを未然に防いでいます。

(5) 会員貢献度評価顕彰

就職困難者等の就労支援を通じて人権課題に積極的に取り組み、社会に貢献している会員を評価・顕彰する第 11 期「会員貢献度評価顕彰制度」は、1 年間の評価期間で実施しました。

エントリーされた 398 会員から、就職マッチング賞 22 会員、人材開発養成貢献賞 32 会員、会員貢献度賞 9 会員が厳選な審議の中で決定しました。感謝状の贈呈は、「2018 年度 C-STEP 通常総会」で行います。

【第 11 期評価・顕彰システム検討委員会委員】

奥田　均	近畿大学人権問題研究所教授
梶川　伸	元毎日新聞大阪本社論説委員
柴田　昌幸	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課課長
辻　延清	大阪市市民局ダイバーシティ推進室雇用･勤労施策課長
内海　義春	大阪企業人権協議会事務局顧問

受賞会員　【別表 6 参照】

３．情報発信・研究開発事業

（1）広報・情報提供

C-STEP ニュースを 4 回発行しました。編集会議の定期開催により、内容の充実に努めました。C-STEP のホームページとも連動し、「各種事業情報」「会員情報」を広く周知を図りました。配布先も就労移行支援事業所や障害者就業・生活支援センター、地域人権協会などへ拡大しています。地域就労支援センターや関係団体には、引き続き C-STEP の事業説明会の開催を行うなど情報提供を行ってきました。その結果、C-STEP 啓発事業に新たに参加する団体・個人が増えています。

（2）雇用問題研究会

テーマ：障がい者雇用と定着支援を成功させるヒント

主　催：一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター

後　援：大阪労働局、大阪府、大阪市

日　時：2018 年 2 月 5 日（月）午後 2 時～

場　所：大阪市東成区民センター大ホール

参加者：149 会員、5 市町、5 団体から計 197 人

プログラム

（1 部）基調講演「障がい者雇用を進めるために知っておきたいポイント」

講師　中塚　毅　氏（大阪労働局職業安定部職業対策課）

（2 部）座談会「私たちが経験した障がい者雇用　～つまずき、気づき、一歩前へ～」

高見　一夫　氏（A´ワーク創造館館長）

牧野　祥子　氏（日産大阪販売㈱）

島川　一彦　氏（日産大阪販売㈱）

中島　吉樹　氏（㈱ニュージェック）

松本　秀樹　氏（C-STEP）

(3) 人と仕事をつなぐ企業の集い

テーマ：障がい者雇用のさらなる拡大をめざして～働く力の育成現場から学ぶ～

主　催：人と仕事をつなぐ企業の集い２０１７実行委員会(大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター)

後　援：大阪労働局

日　時：2017 年 12 月 7 日（木）午後 1 時～

場　所：大阪府立難波支援学校・なにわ高等支援学校

参加者：93 会員、3 学校、7 団体から　計 154 人

プログラム

（1 部）　支援学校の見学会

就労に向けた取り組み説明と授業見学

（2 部）企業からの事例報告

テーマ「ともに働くということ～図書館編～」

講師：本村　明彦　氏（㈱図書館流通センター・大東市立西部図書館館長）

(4) 会員情報の収集

会員から毎年度提出していただく会社概要届並びに市町村会員連絡票の内容に基づき、最新の状況把握に努めました。また、会員貢献度評価顕彰事業にも会社概要届を活用実施しました。尚、2016 年度より「概要届」の簡略化を進めており、提出数は、654 企業・36 市町村（収集率 70%・2016 年度 57%）となりました。加えて、事業協力等の把握やアンケートの集約等も行いました。

４．ネットワーク構築等事業

(1) 地域就労支援センターとの連携

就職困難者の人材開発・養成に関わることや、C-STEP 事業の活用促進を図るため、大阪府・市町村就労支援事業推進協議会と連携し、ブロック別会議や各市の地域就労支援センターへの参加、意見交換、訪問等を実施しました。その結果、岸和田市では、産業政策課支援事業と連携し、「障害者就職模擬面接会」を開催し 14 名の参加がありました。また、柏原市においては

生活困窮者自立支援事業と連携した就労支援事業が拡大しています。今後も求職者のエントリーに加えて、様々な事業の企画運営に協力してまいります。

(2) 一般財団法人大阪府人権協会との連携

2014 年度より大阪府人権協会と共同体を組み「大阪府就職困難者就労支援事業」を実施してきました。府下の市町村人権協会・人権地域協議会へ訪問し、就労相談の掘り起しと各地域就労支援センターへの誘導等を行っています。その結果、新たに C-STEP 事業を活用したり、各種啓発事業に参加する市町村が増加しています。

(3) 一般社団法人ヒューマンワークアソシエーション（B サポ）との連携

「B サポ」は、地域の活性化と主に就職困難層の生活と就労を支援することを目的に活動していています。今年度は、一部市町村の生活困窮者支援事業や守口市の地域就労支援センター事業を担うなど活動エリアも拡大してきました。引き続きネットワークづくりなど連携支援を図ります。

(4) 有限責任事業組合大阪職業教育協働機構（A´LLP)、A´ワーク創造館との連携

前述の支援学校等生徒を対象とした「ビジネスマナー講座」の共同開催や雇用問題研究会等啓発事業でのコーディネートなど連携実施しました。また、A´ワーク創造館が実施する各種事業について広報や誘導を行うなど連携を強化しています。加えて、大阪府大阪市をはじめ各市町村が公募する就労支援事業の受託についても支援協力しています。

５．その他事業

(1) C-STEP の加入勧奨

2015 年度に結成した「会員拡大プロジェクトチーム」活動を継続実施してきました。C-STEP 協力団体友好団体であります、大阪同企連、大企連、公正採用人権啓発推進センターをはじめ、各種団体にも積極的に加入促進の依頼を行なっていきました。また、退会の未然防止のための訪問活動や情報交換も強化しています。

（2）平和・人権・福祉にとりくむ活動への協力

C-STEP の目的である「すべての人権が尊重される豊かな社会の実現に寄与する」（定款第 3 条）を実現するため、前述のネットワークに加え、同和問題解決（部落解放）・人権政策要求大阪実行委員会、世界人権宣言大阪連絡会議、えせ同和行為等根絶大阪連絡会議、NPO 法人ニューメディア人権機構、NPO 法人フードバンク OSAKA、等々「平和・人権・福祉」の取り組みに積極的に参加してきました。

（3）就職者親睦組織「熱と光の会」への支援

職場定着の一環として、C-STEP の就職者でつくる親睦組織である「熱と光の会」の支援を行いました。今年度も、総会と役員会（6 回）を開催し、会報の発行（4 回）と春の経験交流会の企画実施、AIAI フェスタへの参加について企画実施しました。また、就職者激励会にも参加し、新年度就職者に「熱と光の会」への勧誘を行ないました。

『春の経験交流会』

日時：5 月 20 日(土)　場所：サントリー山崎ビール工場他　参加人数：41 名

『AIAI フェスタ』

日時：11 月 3 日(祝)　場所：AIAI フェスタ（大阪市港区）　参加人数：32 名